地域の美術を掘り起こす／読み替える

大田区所蔵作品選

2026

2.1（日） － 5.10（日）

◎開館時間　9：00－16：30（16：00最終入場）

◎休　館　日　毎週月曜日
2.23（月・祝）と5.4（月・祝）は開館し、2.24（火）と5.7（木）は、休館

◎入　館　料　無料

◎アクセス　▶ JR京浜東北線　大森駅西口から
東急バス4番「荏原町駅入口」行乗車、「万福寺前」下車
徒歩５分

▶ 都営地下鉄浅草線　西馬込駅南口から
馬込桜並木通り（桜のプロムナード）に沿って徒歩10分

大田区立馬込アートギャラリー
〒143-0025 東京都大田区南馬込四丁目10番４号　TEL 03-6410-7960

安西啓明《爛漫》1938年

2026

2.1(日) － 5.10(日)

大田区立馬込アートギャラリー
OTA CITY MAGOME ART GALLERY

地域の美術を掘り起こす／読み替える
大田区所蔵作品選

2026年２月１日、大田区立馬込アートギャラリーが開館いたします。

当館は、区が所蔵する美術作品等を、保管・展示する拠点として誕生しました。私たちは、展覧会や教育普及プログラムなどを通じ、地域の文化的資源に光を当てることで、郷土への理解と愛着を育むとともに、区民一人ひとりの心豊かな生活に寄与することを目指しております。当館が位置する南馬込は、かつて「馬込文士村」と呼ばれ、大正後期から昭和初期にかけて多くの文士をはじめ、評論家や画家たちも集い、互いに創造性を刺激し合う文化的な土壌が育まれた場所です。こうした歴史を背景に、地域にゆかりある美術家の調査・研究も当館の重要な使命として、今後も取り上げてまいります。

開館記念となる本展では、「地域の美術を掘り起こす/読み替える」と題し、当館所蔵絵画の中から、昭和から平成にかけて描かれた大田区らしい作品を取り上げます。作品や作家に関する資料を通じて、これまで十分に知られていなかった背景やゆかりを掘り起こし、現代の視点から作家の歩みと作品の意義を改めて捉え直すことを試みてまいります。

Chapter1では、「郷土の画家」と題し、アトリエや住居を区内に持って活躍した画家を取り上げます。日本画家・川端龍子の下、美術団体青龍社に属して活躍した安西啓明(1905-1999)や田園調布に生活や制作の場を築いた洋画家・小絲源太郎(1887-1978)などを中心に取り上げます。地域と深く関わりながら制作を続けた画家の足跡をたどることで、大田区における多層的な歴史を浮かび上がらせます。Chapter2では、「郷土の風景」では、画家たちが捉えた大田区の街や風景である仲田好江《馬込風景》(1972年)や西田藤次郎《久が原住宅街》(1997年)などを展示します。この場所が育んできた美術の一端に触れ、絵画との新たな出会いをお楽しみいただけましたら幸いです。

【ギャラリートーク】
（担当学芸員による展示解説を行います。）
日程：2026年
2月23日(月・祝)、28日(土)
3月14日(土)
4月25日(土)
5月3日(日・祝)
いずれも14:15から
約30分

大田区立馬込アートギャラリー
OTA CITY MAGOME ART GALLERY
〒143-0025 東京都大田区南馬込四丁目10番４号
TEL03-6410-7960

◎ 開館時間　9：00－16：30（16：00最終入場）
◎ 休館日　毎週月曜日
（2.23（月・祝）と5.4（月・祝）は、開館し、2.24（火）と5.7（木）は、休館）
◎ 入館料　無料
◎ アクセス　▶ JR京浜東北線　大森駅西口から
東急バス4番「荏原町駅入口」行乗車、「万福寺前」下車 徒歩５分
▶ 都営地下鉄浅草線　西馬込駅南口から
馬込桜並木通り（桜のプロムナード）に沿って徒歩10分

熊谷恒子展示コーナー
当館２階にて、近代かな書家・熊谷恒子関連常設展示コーナーもございます。合わせてお楽しみください。
「熊谷恒子の世界 第Ⅰ期『いろは帖』」
会期：2.1(日) - 6.28(日) 休館日は、馬込アートギャラリーの休館日に順ずる

弦田英太郎《舞妓と雷神》2003年

高頭信子《原野花雲》1989年

仲田好江《花》制作年不詳